

狭山市次世代育成支援計画

実施状況（平成22年度）

平成23年8月

狭 山 市

凡例

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当課
①	②	③	④	⑤	⑥

① 番号は、左から「章」「節」「個別施策・事業番号(2)」の4桁で表記しています。

※ 重点事業は網掛け表示しています。

② 事業名

③ 事業内容

④ 平成21年度を基点とした平成26年度の目標を記載しています。

⑤ 平成22年度の実施状況を記載しています。

⑥ 担当所属名

目 次

第1章 地域の子育て支援施策の推進	1
第1節 地域子育て支援サービスの充実	1
第2節 子育て支援ネットワークの充実	4
第3節 地域における子育てサポート体制の充実	6
第2章 親子の健康の推進	7
第1節 親子の疾病予防と健康の増進	7
第2節 保健教育の充実	8
第3節 保健相談・家庭訪問の充実	9
第4節 食育の推進	11
第5節 思春期保健対策の充実	13
第6節 安心して子どもが医療にかかれる環境整備	15
第3章 援助を必要とする子どもと家庭に対する取り組みの推進	15
第1節 児童虐待などの防止	15
第2節 ひとり親家庭などの自立支援の推進	17
第3節 障害児施策の充実	19
第4章 仕事と子育ての両立の推進	22
第1節 仕事と生活の調和の推進	22
第2節 男性の子育て参画の推進	24
第3節 保育サービスの充実	25
第5章 次世代を担う子どもの自立と健全育成の推進	27
第1節 次世代を担う親の育成	27
第2節 子どもの健全育成の充実	28
第3節 生きる力を育む教育の推進	31
第4節 家庭や地域の教育力向上の促進	34
第5節 有害環境対策の推進	37
第6章 親子が安心して暮らせるまちづくりの推進	37
第1節 子育て住環境の確保と整備	37
第2節 交通安全対策の推進	39
第3節 防犯対策の推進	40

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
第1章 地域の子育て支援施策の推進					
第1節 地域子育て支援サービスの充実					
1101	[重点事業] つどいの広場事業の拡充	主に乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、相談や情報提供、各種の子育て講座などの実施により、仲間づくりと育児不安を解消し、安心して子育てできるよう、地域バランスに留意しつつ、つどいの広場を整備します。	各中学校区に1か所を目安に、未設置地域への新規設置を含め計7か所設置します。	つどいの広場会議を月1回のペースで実施、情報交換を行い、必要事項の共通理解を図りました。	子育て課
1102	乳幼児情報センター機能の充実	狭山市の子育て支援の拠点として、主に家庭で子育てを行なう保護者を対象に、交流、相談、情報提供などを行うほか、ワイワイ広場やわいわいルームの運営など子育て支援に関し、総合的なマネジメントを行う乳幼児情報センターについて、 (仮称)狭山市総合子育て支援センターへの移転を機に地域における子育て支援環境の整備と子育て情報の収集・提供を行い、地域との関係づくりを進めます。	平成24年度に予定している(仮称)総合子育て支援センターへの移転に向け、現行事業の充実と新たな事業計画の整備及び体制づくりを行います。	年間利用者数 9,270人 (うち父親利用53人) 1日平均32.19人 ちゃっぼ通信を毎月500枚作成し、各支援施設や事業で配布しました。 ワイワイ広場は、4/6～3/8に開催し、参加者が延べ1,061組(2,560人)の利用がありました。	子育て課
1103	[重点事業] (仮称)狭山市総合子育て支援センターの開設及び運営	乳幼児情報センターを狭山市駅西口公益施設2階に移転し、(仮称)狭山市総合子育て支援センターを整備します。 (仮称)狭山市総合子育て支援センターでは、従来の乳幼児情報センターに一時預かり保育の機能を加えるとともに、市の子育て支援の拠点として、各地域での子育て支援環境づくりを行います。	平成24年度開設	開設に向けての庁内検討委員会を16回開催し、管理運営上の取り決めに決定しました。	子育て課 保育課
			平成24年度開設	一時預かり事業を運営するための基本方針や定員、実施時間等を確定するなど、開設に向けた一連の事務作業を行いました。また、指定管理者制度導入による事業実施の方針を受け、運営上の取り決めに決定しました。	

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
1104	地域子育て支援センターの充実	育児不安の解消や子ども同士・親同士が交流するため、保育所に通園していない地域の親子に保育所を開放し、育児相談、遊び場の提供、育児サークルの支援などを行います。	引きつづき事業を実施します。	民間保育所3か所で実施しました。	保育課
1105	園庭開放事業	保育所に通園していない地域の親子にも保育所を開放し、育児相談、母親同士の交流、保育所の子どもとの交流、保育所行事の体験を呼びかけるなど保育所の特性を生かしながら、地域の親子への支援を行います。	引きつづき事業を実施します。	各保育所で園庭・園舎開放を実施し、延べ256組（363人）が保育所内での遊びを通じ園児と交流しました。また、保護者に対し育児相談等も行いました。	保育課
		幼稚園の園庭を開放し、園児と地域の子ども、子育て家庭同士の交流を図るとともに、地域の子育て家庭からの相談に応じるなど、幼稚園環境を活かした地域との交流活動を行います。	引きつづき事業を実施します。	市立幼稚園5園において、地域交流事業を実施しました。幼稚園の園庭を開放し、園児と地域の子どもの交流を図るとともに、地域の子育て家庭からの相談に応じ、1,443人の参加がありました。	学務課
1106	子育て相談事業の充実	乳幼児情報センターのほか、移転後の（仮称）狭山市総合子育て支援センター、家庭児童相談室などで、育児の方法、しつけ、悩みなど子育てに関する相談に保育士や相談員が応じます。また、各地区のつどいの広場や児童館のほか、地区の子育て支援ボランティアを育成し、身近で気軽に相談できる環境を整備します。	身近な場所での相談機能を整備します。	家庭児童相談室では、平成22年度は1,670件の相談を受理しました。参考 平成21年度：1652件乳幼児情報センターは、年間で電話相談129件、面接87件を受理しました。	子ども課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成 26 年度の目標	平成 22 年度実施状況	担当
1107	子育てパパ・ママ応援事業	児童館において子育て家庭の乳幼児をボランティアなどとの協働により一時的に預かる間、保護者にプラネタリウム鑑賞、工芸製作事業や子育て講習会参加の機会を提供することで、保護者の気分転換や精神的負担の軽減及び子育て不安の解消を図ります。	年 12 回、親子 180 組	子育て応援事業として、年 1 2 回実施し、169 組の参加がありました。	子育て課
1108	子育て支援に関する意識啓発	子育てボランティアや子育てに関する情報を広報紙やホームページなどで、市民に向けた広報・啓発活動を行い、市民一人ひとりが子育てについての意義を認識し、地域全体で子育てを応援していくための意識啓発を進めます。 なお、「赤ちゃんの駅」事業を実施し、子育てに優しいまちづくりを行ないます。	引きつづき広報紙、公式ホームページなどで啓もうします。 赤ちゃんの駅事業を実施します。	赤ちゃんの駅事業を 55 か所で実施しました。	子育て課
1109	[重点事業] 一時保育の充実	保育所に通園していない家庭でも、保護者の急病や冠婚葬祭、育児疲れの解消、パート就労などの理由から、家庭での保育が困難な場合に、保育所で一時的に子どもの預かり保育を行います。	17 か所	11 園 12 か所で実施しました。	保育課
1110	短期入所生活援助事業（ショートステイ）の実施	保護者が病気などにより、一時的に養育が困難になった場合、児童を児童養護施設などにおいて短期間（7 日間程度）預かります。	5 件	3 件実施しました。	子育て課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
1111	ファミリー・サポート・センター事業の充実	引き続き、子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人を会員とする組織により、保育所などへの送迎、一時的な預かりなど育児についての助け合いを行います。なお、利用料のあり方や、病児、病後児の預かりなども検討し、機能の充実や互いに活動しやすい環境づくりを進めます。	病児、病後児の預かりの検討と利用料のあり方の検討を行います。 預かる会員：117人→200人	会員数：706人 活動件数：延べ2,428件 活動時間数：延べ3,318時間	子ども課
1112	産前・産後ヘルパー派遣事業の充実	育児負担の軽減を図るため、妊娠中又は出産直後の世帯にヘルパーを派遣し、育児や家事の援助を行います。	利用者の延べ人数：30→48人	利用者の人数：延べ16人	子ども課
1113	子ども手当支給事業	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援する国の子ども手当制度に基づき、保護者に子ども手当を支給します。	子ども手当支給事業を実施します。 (平成23年9月分まで現行の子ども手当が継続、10月分以降については未定)	平成22年度から子ども手当制度創設、中学生までの子どもの養育者に子ども手当を支給しました。 (参考) 支給子ども数 延べ172,331人	子ども課
1114	子育て家庭優待制度の周知	中学生までの子または妊娠中の方がいる家庭を応援するため、お店で割引などのサービスが受けられる「パパ・ママ応援ショップ優待カード」を配布し、制度の周知を行います。	平成25年3月31日まで継続します。	母子健康手帳交付時に優待カードを配布しました。また、子育て支援課（現：こども課）、乳幼児情報センター窓口でも優待カードを発行しました。	子ども課
第2節 子育て支援ネットワークの充実					
1201	[重点事業] 子育て支援に関するネットワークの構築	必要な情報やサービスが必要な人に届くよう、行政、市民ボランティア、民間事業者等と連携し、人、情報、サービスが一体となった子育て支援ネットワークを形成します。 また、ネットワークを有効に活用できるように子育て中の親子同士や親子と支援者をつなぐコーディネーターを配置します。	子育てに関わる人、情報、サービスをつなぐネットワークを構築します。 また、(仮称)総合子育て支援センターに子育てコーディネーターを配置します。	子育て支援者及び子育てサークル運営者の講演会や交流会の開催準備をしました。 ※関連事業は全て子育て支援課（現：こども課）と共催実施のため、現：こども課の実績報告のとおりです。	子ども課 社会教育課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
1202	子育てに関する地域交流サイトの構築	狭山市駅西口公益施設の開設に合わせて設置する地域ポータルサイトを活用し、地域に密着した子育て支援に関する行政情報、民間情報、市民情報を双方向で総合的に取り扱うサイトを構築します。これにより、情報を介した子育てに関する市民交流を進めます。	子育てに関する地域ポータルサイトを構築します。	地域ポータルサイト「さやまルシエ」に子育て情報を提供しました。	子ども課
1203	キッズページの充実	市が行う施策や事業、子育てに役立つ情報について、子どもたちに分かりやすく内容を伝えるキッズページを充実させます。	引きつづき事業を継続します。	毎週火曜日に「週刊さやまっ子ニュース」を配信するなど、ほぼ毎日更新しています。	広報課
1204	子育て情報の提供	乳幼児情報センターが制作している「ちゃっぼネット」及び市公式ホームページに掲載している子育てナビを引続き運営していきますが、西口公益施設の開設に合わせて運用開始を予定している地域ポータルサイトへの統合を検討し、子育てサービスに関する情報を一元的に分かりやすく提供します。 また、子育てガイドブックの継続的な発行と、民間情報を取り入れた子育てバリアフリーマップを作成します。	地域ポータルサイトへの子育て情報の一元化を行います。 子育てバリアフリーマップを作成します。	情報提供は利用者ニーズに合わせ、随時発信しました。 また、子育てガイドブックも内容を確認の上、継続的に発行しています。 乳幼児情報センター分 750冊	子ども課
1205	大学との連携による子育て支援施策の研究	市内や近隣の大学と連携して、専門知識や情報を活かし、狭山市の実状に即した独自の子育て支援のあり方を研究します。	大学との連携により、子育て支援施策を研究します。	児童虐待について、駿河台大学法学部 吉田恒雄教授（埼玉県福祉部児童虐待重大事例検証委員会委員長）にケーススーパーバイザーを依頼し、実務者会議に3回出席いただきアドバイスをもらいました。	子ども課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
1206	ベビー用品の再利用化	ベビー用品の再利用に関する啓発を行い、ベビー用品の持ち込み・再利用を促進します。	引きつづき事業を継続します。	ベビー用品の再利用促進を図りました。 受け入れ：181件 引き取り：176件	奥富環境センター
1207	企業との連携による子育て施策の検討	市内各事業所と、子育て支援施策について情報交換を行い、さまざまな子育て支援施策の連携について検討します。	産業団体や労働機関と連携し、子育て支援施策の実施について検討します。	関係機関と連携し、パンフレット等を窓口を設置し、情報提供と啓発に努めました。	商工業振興課
				国・県からのパンフレット等を関係課を通し窓口を設置してもらい、情報提供と啓発に努めました。	子ども課
第3節 地域における子育てサポート体制の充実					
1301	[重点事業] 子育てボランティアの養成	身近な地域における子育てのサポートや、育児に悩みや不安を持つ保護者に対して気軽に相談に応じるボランティアを養成するとともに、これらのボランティアの活動の場をコーディネートします。	子育て支援に携わる人材の育成と活動支援を行います。	子育てボランティア養成講座を5/17・24・31の3回シリーズで実施し5人が修了しました。	子ども課
				家庭教育学級、すこやか子育て講座等の場において、家庭教育アドバイザー（旧子育てサポーター）の活用を図りました。	社会教育課
				ボランティア養成、活動の場のコーディネート、ともに未実施です。	中央公民館
1302	地域子育て支援事業の支援	子育てサポーター、子育てアドバイザー、シニア・コミュニティ・カレッジなどの修了生のほか、自治会や個人などが地域で自主的に行う子育て広場などの子育て支援活動を支援します。	地域子育て広場の支援10か所	地域子育て支援活動団体4団体に支援を行いました。	子ども課

狹山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
1303	子育てサークルの支援	子育てサークルの立ち上げ支援のほか、必要な情報を提供するとともに、活動する場所や機会の確保、子育て支援を行うボランティアの紹介など、サークルの自主的活動を尊重しつつ、サークルの運営を支援します。	子育てサークルの立ち上げから活動までの支援を行います。また、支援者と保護者をつなぐコーディネート機能の確立に努めます。	子育てプレイス新狭山で12月に1回貸館を実施し、他の支援者団体には物品の貸出支援を始め、スタッフの派遣などを行いました。	社会教育課
			育児に関する活動を行っている団体について、一定の要件を満たす場合、公民館や集会所の使用料を免除し、子育てサークルを支援します。	公民館等使用料免除制度に基づき、免除登録審査会を開催し、申請を受けた団体の審査を行いました。平成23年度分の免除団体として、子育てに関するサークル2団体を認定しました。	
			子育て親子を対象とした講座の実施やサークルに対する活動場所の提供などを行います。	各公民館において、活動場所や機会を提供しました。	中央公民館
第2章 親子の健康の推進					
第1節 親子の疾病予防と健康の増進					
2101	妊婦一般健康診査事業の充実	費用の助成を行い、妊娠中の母体の健康の保持増進、疾病の早期発見を目的に妊婦一般健康診査事業を実施します。	公費負担を継続的に実施し、妊娠期の健康管理と経済的支援を図ります。また、早めの妊娠届出を勧めます。	妊婦健康診査を公費負担で14回継続して実施しました。	保健センター
2102	乳幼児健康診査事業	4か月・1歳6か月・3歳児健康診査を実施するとともに、子どもの疾病の早期発見だけではなく、成長や発達を見守り、親や家族への育児支援の場としての事業展開を行います。	今後とも受診率はもとより健診精度を維持し継続実施し、疾病の早期発見及び疾病等の早期治療に結びつけます。また、受診率の更なる向上及び未受診者を含め対象者の状況把握に努め、必要な方には保健相談・家庭訪問等の子育て支援につなげていきます。	保健センターでの集団健康診査を16回実施しました。 受診率 4か月児 97.6% 1歳6か月児 95.8% 3歳児 93.8%	保健センター

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
2103	予防接種事業	感染症対策の一環として、予防接種法に基づき各種の予防接種を実施します。	集団接種の日程などについて、広報紙やホームページで周知を図り、6か月未満のBCG接種等、定期予防接種の接種率の維持・向上を図ります。また、広報紙やホームページなどを活用し、最新の感染症情報の提供に努めます。	公式ホームページや広報紙を用いて、各種感染症の予防の注意喚起、及び予防接種勧奨を実施しました。集団接種率 BCG：98.2% 個別接種率 麻しん風しん 1期：95.47% 2期：93.48% 3期：88.76% 4期：80.44%	保健センター
第2節 保健教育の充実					
2201	[重点事業] 妊娠期教育事業	妊娠期の教育として、マタニティスクールと両親学級を実施します。マタニティスクールでは、丈夫な赤ちゃんを産み育てることを目標に、講義・実技を通し、妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及や技術の習得を図るとともに、地域内での仲間づくりを促進します。両親学級では、夫婦が協力して子育てを行う意識の高揚を図るとともに、分娩・産褥を迎えるための知識の普及に努めるなど、夫婦に対する出産準備教育を行います。	引きつづき事業を実施していきます。	マタニティスクール： 6コース 参加者：延べ358人 (父親22人含む) 両親学級：6回 参加者：92組 マタニティスクールと育児学級の交流を設定しました。	保健センター
2202	育児学級事業	子育てなどについての正しい知識の普及と実践を図り、地域の中での仲間づくりを促進します。	関係機関と連携しながら、内容の充実に努め、引きつづき事業を実施します。	8コース 参加者：延べ265人 前年度以前の要望に応え、地域情報の提供に努めました。	保健センター
2203	ペアレントサポート教室	子どもにかかわりにくいと感じている保護者を対象に、子どもへの対応の仕方や保護者自身のストレスマネジメント方法について学習できる教室を実施します。	事業の定着と保育所・幼稚園等育児関係機関との連携強化に努めながら、事業を実施します。	3回1コース 参加者：実人数12人 延べ33人	保健センター

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成 26 年度の目標	平成 22 年度実施状況	拠
2204	保健教育の充実	乳幼児健康診査時の小集団指導（4 か月児健康診査時の予防接種の講話）および、地域における保健教育を実施します。	時代の要請や市民ニーズに合わせた教育内容を盛り込みながら、より効果的な保健教育を企画・実施します。	保健教育（主催）：16 回 参加者：延べ 1,112 人 ・事故防止啓発 ・予防接種勧奨 保健教育（依頼）：7 回 参加者：延べ 68 人	保健センター
2205	栄養教育の充実	子どもの発達段階や個性、母子の健康状態、および家族の状況などに応じた適切な食生活を営む力を高めるため、乳幼児健康診査時の小集団指導（4 か月児健康診査時の離乳食講習会、1 歳 6 か月児健康診査時のおやつ指導、3 歳児健康診査時の生活リズム教育）および、地域における栄養教育を実施します。	引きつづき事業を実施します。	栄養教育（主催）：92 回 参加者：延べ 3,370 人 栄養教育（依頼）：3 回 参加者：延べ 30 人	保健センター
2206	歯科教育の充実	乳歯の重要性を含めた口腔衛生やフッ素化物に関する正しい知識の普及のため、乳幼児健康診査時の小集団指導（4 か月児健康診査時の歯の話、1 歳 6 か月児健康診査・3 歳児健康診査時の歯磨き指導）および、地域における歯科教育を実施します。	引きつづき事業を実施します。	歯科教育（主催） 参加者：3,337 人 歯科教育（依頼）：31 回 参加者：延べ 2,142 人	保健センター
第 3 節 保健相談・家庭相談の充実					
2301	周産期からの訪問事業の充実	周産期の母体の健康管理や育児指導、育児不安の軽減を目的として、妊娠届出時からの状況把握及び、看護連絡票等の各関係機関からの妊産婦や乳幼児に係る依頼に対し、家庭訪問等の支援を実施します。また、出産後は産婦・新生児訪問及び未熟児訪問を実施します。産婦・新生児訪問では、委託助産師と定期的に連絡会を実施し、支援のための連携を強化します。	さらなる充実を図るため、支援体制の整備と充実、また、関係機関との連携を強化します。	新生児・妊産婦訪問事業 産婦：延べ 193 人 新生児（乳児含む）：延べ 197 人 新生児妊産婦訪問連絡会：12 回 未熟児訪問指導事業 訪問数：延べ 43 人	保健センター

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
2302	[重点事業] こんにちは赤ちゃん事業	地域ぐるみの育児支援を推進するために、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会として、地域の民生委員・児童委員による全戸訪問（4か月児健康診査票及び地域の情報等を配布）を実施します。	継続的な実施により、地域と子育て家庭、行政の連携強化を図ります。また、事業の円滑な実施のため、周知の徹底に努めます。	生後2か月時点の乳児家庭の全戸訪問 面会戸数：1,070件 面会率：93.8%	保健センター
2303	すこやか訪問事業	乳幼児すこやか訪問員を委嘱し、乳幼児健康診査の未受診児家庭を訪問することにより、地域での育児支援を推進します。	未受診児把握率：100%	乳幼児健康診査3種の未受診児世帯訪問 訪問件数：85件 すこやか訪問員委嘱人数：21人	保健センター
2304	乳幼児健康相談事業	乳幼児相談、予約相談および各種乳幼児健康診査時相談などを実施し、子どもの発育・発達、栄養、歯科、健康などに関する相談を行います。	引きつづき事業を継続し、相談職員のさらなるスキルアップに努めます。	乳幼児健康相談：12回 来所者：延べ1,027人	保健センター
2305	予約相談事業	乳幼児健康診査の結果等から、必要に応じ専門職による各種予約相談[特別枠乳幼児相談、てんとう虫の会（主に言語面）、こども発育発達相談]を実施します。	乳幼児健康特別枠相談：12回 てんとう虫の会：10回 こども発育発達相談：12回 該当事業担当職員スキルアップ研修：1回	乳幼児特別枠相談：延べ52人 てんとう虫の会：延べ25人 発育発達相談：延べ26人 スタッフ研修：1回 延べ47人	保健センター
2306	「かかりつけ医」・「いきつけ薬局」体制の充実	保健所、医療機関および薬局などと連携し、「かかりつけ医」や「いきつけ薬局」を持つことで、健康づくりや疾病の予防を目的とした健康相談体制の充実を図ります。	引きつづき医師会や薬剤師会との連携を図り、かかりつけ医等の必要性を市民に周知します。	健康づくり啓発事業（むし歯予防デー等）で歯科医師会及び薬剤師会等の協力により予防相談等を毎年実施しています。 参加者：956人	健康推進課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成 26 年度の目標	平成 22 年度実施状況	担当
第4節 食育の推進					
2401	食育ネットワークの構築	効果的に食育を推進するため、関係機関などによる食育推進会議（仮称）を設置するとともに、協働事業を企画・実施します。	関係機関および団体などが連携して食育を進める体制を整え、事業を継続実施します。	狭山市栄養士連絡会議を2回、同研修会を1回実施し、食育に関連する情報交換及び協議を行い、それぞれの事業に活かしました。狭山市健康づくり推進協議会と協働で研修及び健康づくり講座を実施しました。	健康推進課・保健センター
2402	「主食、主菜、副菜」料理の組み合わせと望ましい生活リズムづくりの普及啓発	ホームページによる啓発活動や、関係機関と協働で啓発事業、学校・幼稚園などを通じた栄養教育を実施し、健康を保つうえで基本となる料理の組み合わせと望ましい生活リズムに対する理解と実践を図るための事業を企画・実施します。	「主食・主菜・副菜」を心がけている人の割合→増加 三食規則正しく食べていない子→3% 甘味飲料を500ml以上飲んでいる子→3%	児童館等から依頼された栄養教育：3回30人 3歳児健康診査での生活リズム教育：16回1,093人 1歳6か月児健診でのおやつ教育：16回873人 離乳食講習会：28回1,123人 「主食・主菜・副菜」を心がけている人の割合→68% 1日3食規則正しく食べていない子→5.0% 甘味料を500ml以上飲んでいる子→5.0%	健康推進課・保健センター
2403	家族ぐるみの食習慣づくりの普及啓発	ホームページおよび栄養教育の場において、啓発活動を行い、家族そろって食事をするることによる健やかな心とからだを育む食習慣を促進します。	家族そろって週4～5日以上食事をする割合 未就学児→増加 小学校児童→増加	依頼栄養教育：3回30人 保健センター主催栄養教育：92回3,370人	健康推進課・保健センター
2404	地産地消に関する意識啓発	地産地消（地域で生産された農作物を地域で消費すること）を通じて、地域を理解するとともに、食の大切さを学べるよう広報紙やインターネットを通じた広報啓発や農業祭を行います。	イベント開催：6回	農業イベントを開催し地場産農産物のPRと農業への理解を図りました。 狭山新茶と花いっぱいまつり4月29日(木)、狭山市農業祭11月21日(日)、平地林作業ボランティア・平地林の手入れ作業（落ち葉掃き、間伐、倒木片づけ）1月22(土)・23日(日)を通じて狭山市の循環型農業についての理解を図りました。	農業振興課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成 26 年度の目標	平成 22 年度実施状況	担当
2405	[重点事業] 給食などを通じた食育の推進	保育所において、発育・発達段階に応じた豊かな食の体験を積み重ねていくことにより、生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送ることを基本とした食事教育を推進します。	保育所の食育計画を策定し、これに沿った食育の実践、評価を行い、「食を営む力」の形成を一層すすめます。	各保育所の畑で栽培、収穫した野菜を使つてのクッキング保育を行うとともに、自分の食事の盛り付けなどを行い、食べることに對する関心が子どもたちの心に育つてきています。また、低年齢児については発達に即した調理内容を検討して実施しています。リーダー会では平成 21 年度に作成した食育計画をさらに深めました。	保育課
		特別活動や家庭科の授業等で、食育推進の一環として「主食、主菜、副菜」を基本とした食事のあり方や栄養の正しい摂取方法など、給食センターや保健センターと連携しながら推進します。	引きつづき指導内容の充実を図ります。	「お弁当の日」の啓発資料を全保護者に配布し、事前指導資料を作成、学校に配布等を行い周知、推進を図りました。	教育指導課
		学校給食の献立表に「主食、主菜、副菜」を表記し、児童生徒およびその保護者に対して健康を保つうえで基本となる料理の組み合わせについて理解と実践を図ります。また、地産地消を通じて、地域への理解を深めるため、地域で生産された農作物を積極的に使用します。食物アレルギーのある児童生徒にアレルギー対応食を提供します。	引きつづき、給食献立表、給食だよりの発行、給食時の学校訪問の実施に加え、食物アレルギー対応食を提供します。	公式ホームページの献立表も「主食、主菜、副菜」表示にしました。	入間川学校給食センター

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
2406	農業体験学習	自ら農作物を栽培することで、自然に対する感謝の心を育み、勤労の尊さと食料生産に対する認識を育てます。	農業体験学習を継続して実施します。	農業体験事業の活動の様子や、毎年秋に開催される「農業祭」で収穫物を発表しています。また、埼玉県みどりの学校ファーム事業と併せて活動を推進しました。	農業振興課
		保育所で借用した畑に、子どもたちが野菜などの農作物を栽培することによって、労働および食べ物への感謝の気持ちを育みます。	今後も引きつづき日常的な保育活動として継続します。	農政課の協力のもと、各保育所において野菜の栽培などの農業体験学習を行いました。	保育課
		地域の環境を生かし、農作物の栽培活動を通して、豊かな心を育てます。	引きつづき指導内容の充実を図ります。	入間小、南小、入間野小、3校合同農業体験を実施しました。	教育指導課
2407	食文化の体験と伝承	家庭や地域で伝統的な食文化を体験できる児童が少なくなっていることから、保育所の行事や給食を通じて、地域の食文化を大切に、異なる文化も大切にできる基礎をつくります。	地域の食文化体験の内容と方法を検討し、保育所の食育計画に位置づけ推進します。	毎日の給食を日本型の主食・主菜・副菜を取り揃えた献立としました。また、各保育所で伝統的な行事や日本文化としてのおもてなし等を計画的に保育活動の中で行いました。	保育課
第5節 思春期保健対策の充実					
2501	性、性感染症予防教育の充実	児童生徒に対して、性に関する正しい知識・理解を浸透させるよう、性教育・エイズ教育を中心に実施します。	指導内容の充実を図りつつ、引きつづき事業を実施します。	全校において指導内容や教材等を検討の上、実施しました。	教育指導課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
2502	飲酒・喫煙、薬物などに関する意識啓発	喫煙(受動喫煙を含む)、飲酒、薬物が与える危険性を理解するための普及啓発活動を行います。	青少年を育てる狭山市民会議及び地域会議で実施する非行防止キャンペーンを継続的に実施します。	七夕まつり会場で青少年を育てる狭山市民会議が更生保護法人埼玉県更生保護観察協会狭山支部、所沢地区保護司会狭山支部、狭山市更生保護女性会と共催で社会を明るくする運動を実施しました。その他、地域会議が主体となり祭会場等で非行防止キャンペーンを実施しました。	ハコモ課
		警察署や各種機関と連携し、特に小学校高学年・中学生に対して、非行防止教室等をとおして計画的に薬物乱用防止教育を実施します。	指導内容の充実を図りつつ、引きつづき事業を実施します。	全校において薬物乱用教室を学校保健安全計画に位置付け、関係機関と連携して実施しました。	教育指導課
2503	養護教諭の活用によるチーム・ティーチング(TT)	学級活動や保健指導を中心に、養護教諭のTT指導を年間指導計画に位置づけて、計画的に実施します。	引きつづき指導内容の充実を図ります。	小学校9校、中学校4校で実施しました。 実施率：50%	教育指導課
2504	教職員のカウンセリング資格の取得推進	児童生徒の悩みやいじめ、不登校などの問題行動に予防や治療を目的として、全ての教職員に学校カウンセリング研修会の受講を義務づけ、資格の取得を推進します。	全教職員に学校カウンセリング初級研修会や中級研修会への参加を促します。	平成22年度までの初級研修会修了100%を目指し、未受講者の受講を勧めました。41人が初級研修会を終了し、中級研修については、4人が終了しました。	教育センター
2505	スーパーバイザーによる支援	教育センターや学校に配置している相談員の資質向上を図るため、スーパーバイザーに指導、助言を依頼します。	スーパーバイザーによるケースカンファレンスの回数を増やすなど、継続的に研修を行い、相談員への支援を強化します。	さわやか相談員、相談支援員を対象に、講師を招聘し、資質の向上を目指した研修会を学期1回実施しました。	教育センター
2506	[重点事業] 学校教育相談の充実	子どもの健やかな成長と発達を支援するため、児童、生徒、保護者を対象に教育相談を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携を図りながら支援を行います。	相談件数の増加に伴い、相談員等にチームによる相談体制の整備を行いながら、事業の充実に努めます。	公立中学校にスクールカウンセラー、さわやか相談員、相談支援員を配置しました。教育相談支援員は、各中学校区の小学校を巡回訪問し、小学校での巡回相談を実施しました。	教育センター・教育指導課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
第6節 安心して子どもが医療にかかれる環境整備					
2601	こども医療費支給制度の充実	子どもの健全な成長と子育て家庭に対する経済的な支援を行うため、市内の指定医療機関にかかった場合の医療費（保険診療に係る自己負担金）を原則として無料にするとともに、対象を中学校第3学年修了時まで拡大します。	平成23年度に中学校第3学年修了時まで年齢拡大を実施します。	対象年齢を入院・通院ともに小学校5年生までに拡大しました。また、年齢拡大に伴い、公式ホームページや広報紙において制度の周知を図りました。 支給件数：219,944件	子育て課
2602	小児医療体制の確保	狭山市急患センターによる休日・夜間の初期救急体制の充実を図るとともに、小児の二次救急医療病院群輪番制病院運営事業に参画し、小児科救急医療体制を確保します。また、救急医療体制に関する情報提供を行うとともに、子どもの疾病に関する予防や対処法の啓発を行います。	初期の救急医療体制を継続し、小児の二次救急医療病院群輪番制運営事業の再構築を推進します。	入間市と合同で夜間・休日の初期救急医療体制の充実を図りました。 また、小児科の二次救急医療体制については、所沢地区を圏域とする「小児科救急医療病院群輪番制病院」を整備し、重症救急患者の医療確保を図りました。	健康推進課
第3章 援助を必要とする子どもと家庭に対する取り組みの推進					
第1節 児童虐待などの防止					
3101	[重点事業] 要保護児童対策地域協議会の充実	地域の関係機関が連携して虐待などにより保護を要する児童の早期発見、早期対応及び見守りを適切に行なう要保護児童対策地域協議会を定期的で開催し、子どもの人権を守り、児童の健全な育成を推進します。	代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議22回	代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議28回を実施しました。国や県からの指針が出たため、進行管理表掲載の虐待の恐れがある児童について、所属と文書による情報提供を受ける仕組みを作り、活用しました。	子育て課
3102	要保護児童に対するケース・マネジメントの充実	要保護児童対策地域協議会を中心に、リスクアセスメント、ケース・マネジメントなどのシステム化を図ります。	ケース・マネジメントシステムの構築と対応マニュアルを作成します。	文書による情報提供を児童の所属から受け取る仕組みを設けるとともに、各所属に機関マネージャーの選任を依頼しました。	子育て課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
3103	児童虐待防止に関する職員研修	日常的に子どもの人権侵害を発見しやすい立場にある保育士を対象とした児童虐待防止研修を行います。	虐待の防止と早期発見のため、虐待防止に関する研修を実施し、職員の意識向上に努めるとともに、関係機関との連携と協力に努めます。	児童虐待防止のための研修に積極的に参加するとともに、職場内でも話し合いを行い理解を深め、対応しています。	保育課 教育指導課
		学校教職員を対象とした児童虐待防止研修を行います。	県主催の児童虐待防止研修に各校1名参加し、校内での児童虐待防止研修に生かすなど、引きつづき事業を実施します。	児童虐待実態調査を実施しました。 教育指導課として、対策ケース会議に出席しました。	
3104	育児支援訪問事業	出産後間もない時期や様々な原因で養育が困難になっている家庭に対して、育児・家事の援助や、具体的な育児に関する技術支援を行うことにより、個々の家庭の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図ります。	支援体制の整備と確立に努めます。	平成21年11月から事業開始し、平成22年度は4件実施しました。必要なケースは、他課の訪問支援サービスを継続して導入しました。	こども課
3105	里親制度の普及促進	さまざまな理由により、家庭で養育できない児童を保護者に代わって育てる里親制度を普及促進します。	児童相談所と連携しながら、里親の普及促進及び活動支援を実施します。	狭山地区里親会の事業を支援し、里親同士の交流促進を図りました。	こども課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
3106	子どもの人権及び児童虐待の防止に関する意識啓発	子どもの人権の啓発・普及を推進します。	児童福祉週間や児童虐待防止週間に子どもの人権に関する普及活動を実施し、児童虐待の予防、児童虐待通報義務のPR、児童虐待に関する意識の向上を図ります。また、要保護児童対策地域協議会の主催で、「児童虐待防止に関する講演会」を開催します。 広報紙掲載1回/年 講演会開催1回/年	11月児童虐待防止推進月間の特集を広報紙に掲載し、講演会「子どもの虐待の理解と家庭への支援」を11/7に開催しました。 参加者：61人	子ども課
			引きつづき人権啓発・教育事業を実施し、人権意識の高揚や人権感覚の育成を図ります。	主催する人権教育実践研究会等、さまざまな人権教育事業の展開を通して、人権感覚の育成に努めました。	社会教育課
3107	メディア・リテラシーの育成	授業でのインターネットの積極的活用を通じ、情報活用の実践力を培う中で、金銭、薬物、性などの被害に遭うことがないように、入手した情報の信ぴょう性、妥当性に対する判断力を育成します。	児童生徒の情報活用能力を更に向上させるためにも、定期的な研修会を継続して実施します。	情報セキュリティポリシー研修会を管理職、情報主任を対象として実施しました。指導者は、県立総合教育センター指導主事、持田栄先生を招聘し、情報教育の向上に努めました。	教育センター
3108	適応指導教室の活用による支援	適応指導教室を活用し、不登校の児童生徒の学校復帰を支援します。	今後も個に応じた対応を充実させ、児童生徒の学校復帰を支援します。	適応指導教室に入級した不登校児童生徒の学校復帰を支援しました。90%以上の児童生徒が、進学または、学校へ復帰しました。	教育センター
第2節 ひとり親家庭などの自立支援の推進					
3201	[重点事業] 母子自立支援員及び就労支援プログラム策定員による支援	母子自立支援員及び就労支援プログラム策定員を配置し、母子家庭の自立に向けた総合的な支援を行います。	母子自立支援相談件数:150件 母子自立支援プログラム策定件数:20件	母子家庭の自立に向けた支援を行い、就労支援プログラムを策定しました。 母子自立支援 相談件数：317件 母子自立支援プログラム策定件数：22件	子ども課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
3202	ひとり親家庭に対するサービスの情報提供	必要な情報が必要な家庭に届くよう、ひとり親家庭に対するサービスに関する情報を集約し、情報提供を行いません。	ひとり親家庭に対する子育て支援ガイドブックの作成及びホームページ等の充実を図ります。	ガイドブック「子育て支援のご案内」を作成しました。	子育て課
3203	児童扶養手当制度	離婚や死別などにより、父親(母親)のいない家庭や父親(母親)が一定の障害の状況にある家庭の子どもの母親(父親)などに対して手当を支給します。	制度の周知を図ります。	窓口来庁者にはパンフレットを用いて制度の説明を行いました。また、広報紙の8月号に父子も対象となる旨の記事を掲載し、3月号には制度概要をお知らせする記事を掲載しました。	子育て課
3204	ひとり親家庭等医療費支給制度	保険診療に係る自己負担金の一部を補助し、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ります。	制度の周知を図ります。	受給権者数：1,899人 支給件数：11,378件	子ども課
3205	小学生および中学生の就学援助金等支給制度	経済的な理由により、学用品の購入や給食費の支払いなどに困窮している小学生および中学生の保護者に対して、国の法律に基づき経済的援助を行います。	引きつづき現在の基準で事業を継続し、社会情勢・経済情勢を勘案しながら経済的困窮家庭の児童・生徒の就学機会の均等や学習支援を図ります。	要保護者20人、準要保護者1,570人に対して、学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費、医療費の援助を行いました。就学援助費112,000,320円	学務課
3206	遺児就学援助金等支給制度	交通事故・疾病その他の事由により親権者の一方または双方を亡くした小学生および中学生の保護者に援助金等を支給します。	引きつづき事業を継続します。	義務教育課程の遺児の保護者に援助金と図書カードを支給しました。 対象者数：73人 対象児童数：108人	子育て課
3207	埼玉県ひとり親家庭児童就学支度金事業の申請受付	新たに中学校に入学する児童を養育するひとり親家庭等の保護者に対し、就学支度金の申請受付を行います。	申請件数：45件	申請件数：59件	子育て課
3208	埼玉県母子寡婦福祉資金貸付制度の申請受付	母子家庭等の経済的自立を図るため、必要な資金の貸付の相談・申請受付を行います。	申請件数：10件	申請受付件数：16件	子育て課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
3209	自立支援教育訓練給付金支給事業の実施	就職を希望する母子家庭の母親に対して、その受講した教育訓練講座に係る費用の一部を、自立支援教育訓練給付金として支給します。	相談件数8件、うち指定件数4件、支給4件	窓口等で制度の周知を図りました。 受講中：1件	子ども課
3210	高等技能訓練促進費等支給事業の実施	母子家庭の母親が就業に必要な国家資格等の資格取得を目的とする養成機関に修業する場合、その生活の経済的負担の軽減を図るため給付金を支給します。	支給件数20件	修業期間中の生活の負担を軽減する目的で給付金を支給しました。 支給件数：22件	子ども課
3211	内職相談事業	内職に対する相談、あっせんを行います。	毎週2回実施、紹介160人	内職相談員による内職の相談あっせんで週2回実施しました。 求人：183人 求職：644人 紹介：147人 登録者：287人	商工業振興課
3212	就労に関する情報提供	就労支援サイト「茶レンジJOBさやま」の登録企業を増やし、求人情報の充実を図り、また、狭山市ふるさとハローワークにて求人求職に関する情報提供・あっせんを行います。	引きつづき事業を継続します。	本庁舎1階に求人コーナーを設置し情報提供を行いました。また、インターネットによる就職支援サイトを運用し情報提供を行いました。 週2回若年者を対象にした就職相談も行いました。	商工業振興課
第3節 障害児施策の充実					
3301	乳幼児育成指導等事業	健康診査などにおいて、経過観察を必要と判断された乳幼児や育児不安をもつ保護者などに対し、個別相談やグループ指導を行います。	めだかクラブ年24回実施 関係各課と連携し、保育所、幼稚園、青い実学園など、次の所属先への適切な情報提供を行います。	めだかクラブを23回開催しました。 (1回は東日本大震災のため中止)	子ども課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
3302	障害児保育	保育所における集団保育が可能な心身の発達に障害のある乳幼児の健やかな発達支援と家族支援のため、保育に欠ける障害児の保育を行います。	保育士研修を実施するとともに関係機関との連携を図りながら、家庭との相互理解を築き、適切な保育を進めます。	公立8保育所において23人、民間2保育所において2人の障害児を受け入れ集団保育を実施しました。このうち、青い実学園に通園している園児は、青い実学園と連携を取りながら適切な保育が行われるように努めました。	保育課
3303	療育事業	心身の発達に障害のある乳幼児などの療育を行うため、障害児通園（デイサービス）事業、外来療育相談などを行います。	・児童デイサービス事業：4,000人・外来療育相談事業：600件・めだかクラブ事業への参加：17回・三歳児健診への職員派遣：16回・幼稚園、保育園見学・相談支援：220回・専門病院、訓練機関への見学：10回・保健センター、子育て支援課、生活支援センターとの連携・小学校、特別支援学校との連携。	・児童デイサービス事業の利用者：延べ3,353人・外来療育相談事業：1,095件・めだかクラブ事業への参加：19回・三歳児健診への職員派遣：14回・幼稚園、保育園見学・相談支援：69回・専門病院、訓練機関への見学：12回保健センター、子育て支援課（現：こども課）との情報共有やケース会議を開催しました。また、小学校、特別支援学校との見学や勉強会などを含む連携も深めました。	青い実学園
3304	特別支援教育の充実	特別支援教育へのより一層の理解を深め、より望ましい特別支援教育を実践します。	就学相談、特別支援学級への指導訪問、特別支援学校との連携をより充実させます。	就学相談、専門家巡回支援相談等を実施し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた就学を支援しました。	教育指導課
3305	障害者就労支援事業の推進	障害者の雇用促進と生活の質の向上を図るため、労働情報や就労支援を目的とした障害者就労支援事業を推進します。	障害者やその家族、事業所に対して相談から職場定着までの生活面を含めた就労支援を行い、障害者就労支援センター利用の促進に努めます。	登録者数：133人 就職者数：25人 参考 平成19年度以降 就職者数：71人	障害者福祉課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
3306	文化・スポーツ活動などの推進	障害児の健康増進や社会参加の拡大、交流の促進を図るため、文化・スポーツ活動などの計画的な実施を推進します。	文化・スポーツ事業の情報提供を行い、社会参加や交流の機会拡大を推進します。	埼玉県障害者スポーツ大会「彩の国ふれあいピック」等のスポーツ大会について、広報紙や団体への通知により募集しました。	障害者福祉課
3307	移送サービス	社会参加の促進を図るため、移送サービスを実施します。	ハンディキャブの運行・貸出及びタクシー券・ガソリン券の給付を行います。	ハンディキャブ運行事業、タクシー券・ガソリン券の給付を行いました。	障害者福祉課
3308	介護人等派遣事業	難病患者の自立と社会参加を促進するため、ホームヘルプサービス事業、高等学校などに通学する在宅の全身性障害者の円滑な通学を支援するため、介護人派遣事業、聴覚障害者に対するコミュニケーション手段の確保のため、手話通訳者派遣事業などを行います。	人材の確保に努めるとともに、事業の周知徹底により、利用の促進に努めます。	精神障害者・難病患者ホームヘルプサービス事業及び全身性障害者通学等介護人派遣事業を行いました。また、手話通訳者派遣事業、要約筆記奉仕員派遣事業を行い、コミュニケーション手段の確保を行いました。障害者の福祉ガイド、公式ホームページ等により事業の周知を図りました。	障害者福祉課
3309	障害児生活サポート事業	在宅の障害児の地域生活を支援するため、身近な場所における一時預かり、送迎、外出援助などを行う障害児生活サポート事業を行います。	事業者の確保に努めるとともに、事業の周知徹底により、利用の促進に努めます。	事業者及びサービス利用者に補助金を交付し、在宅障害者の支援を行いました。 登録：18団体 交付：16団体	障害者福祉課
3310	日常生活用具給付等事業	在宅重度障害者の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具の給付などを行います。	引きつづき事業を実施するとともに、その周知に努めます。	日常生活用具の給付・貸与・レンタルを行いました。 給付件数：4件	障害者福祉課
3311	重度心身障害者（児）医療費支給制度	重度心身障害者（児）の経済的負担の軽減を図るため、保険診療に係る自己負担金を補助します。	引きつづき事業を実施します。	引きつづき事業を実施し周知に努めました。支給件数：72,551件	障害者福祉課
3312	身体障害児育成医療自己負担補助事業	身体障害児の福祉の増進を図るため、育成医療に係る自己負担金を補助します。	自己負担金に対する補助や制度の周知を行います。また、身体障害児の福祉の増進、介護者の負担軽減に取り組みます。	対象者に補助金を交付し、負担軽減を図りました。 支給件数 500件 2,373,530円	障害者福祉課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
3313	福祉教育の充実	ノーマライゼーションの理念に基づき、学校行事や授業時間を中心に、全教育活動をとおして、障害者への理解を深める福祉教育を行います。	外部機関との連携を強化し、一層の充実に努めます。	社会福祉協議会との連携を図り、福祉体験教室を各校で実施しました。延べ34校、3,115人の児童生徒が参加しました。	教育指導課
第4章 仕事と子育ての両立の推進					
第1節 仕事と生活の調和の推進					
4101	仕事と子育ての両立支援に向けた啓発	国や県、関係団体などと連携を図り、仕事と子育ての両立支援に関する法制度の広報・啓発、情報提供を実施します。	引きつづき男女共同参画情報紙「ひこうせん」等で、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に向け意識啓発を行います。	情報紙「ひこうせん15号」を56,000部発行しました。ママのための再就職支援セミナー（2回）を開催しました。 参加者：延べ28人	自治振興課
			関係機関と連携し、情報の収集を行い、関係制度の趣旨について、パンフレットやホームページでさらなる制度の普及啓発に努めます。	関係機関と連携しパンフレットを設置して啓発と情報提供に努めました。男女共同参画室との共催で「ママのための再就職セミナー」を開催しました。	商工業振興課
4102	育児休業・看護休暇に関する普及啓発	男性にも女性にも育児休業や看護休暇の取得に向けた意識啓発を行います。	引きつづき育児休業や看護休暇を実施している企業を、男女共同参画情報紙「ひこうせん」に掲載し、取得に向けた意識啓発を行います。	情報紙「ひこうせん15号」を56,000部発行しました。	自治振興課
			産業団体や労働機関との連携を密にし、パンフレットやホームページにより、さらなる制度の普及啓発に努めます。	関係機関と連携し、パンフレット等を窓口に設置し、情報の提供と啓発に努めました。	商工業振興課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
4103	多様な働き方に関する意識啓発	男性を含めたすべての人が、フレックスタイム制度や在宅勤務など多様な働き方を選択できるよう意識啓発を行います。	引きつづきフレックスタイム制度や在宅勤務など多様な働き方をしている人を、男女共同参画情報紙「ひこうせん」に掲載するなどして、意識啓発を行います。	情報紙「ひこうせん15号」を56,000部発行しました。	自治振興課
			産業団体や労働機関との連携を密にし、パンフレットやホームページにより、さらなる制度の普及啓発に努めます。	パンフレットの配布等により意識啓発を行いました。	商工業振興課
4104	一般事業主行動計画の普及啓発	市内の各事業所に対して、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定、実施について、普及啓発するとともに調査を実施します。	産業団体や労働機関との連携を密にし、さらなる制度の普及啓発に努めます。また、企業訪問を通して実態把握に努めます。	企業訪問をおこなった企業に対して、行動計画策定のための啓発を行っています。 企業訪問：183件	商工業振興課
4105	女性の再就職に向けた支援	出産、子育てなどのために退職し、再度、就職を希望する場合の再就職を支援します。	講座等を開催し、出産、子育てなどのために退職し、再度、就職を希望する女性の再就職を支援します。	ママのための再就職支援セミナー（2回）を開催しました。参加者：延べ28人	自治振興課
			共催によりセミナーを開催します。	男女共同参画推進室との共催で女性のための再就職支援セミナー「情報支援お役立ちセミナー」「面接対策セミナー」を実施しました。参加者；延べ28人	商工業振興課
4106	事業所内託児施設の整備促進	事業所内託児施設の整備促進について啓発します。	産業団体や労働機関との連携を密にし、パンフレットやホームページにより、さらなる制度の普及啓発に努めます。	関係機関と連携し、パンフレット等を窓口を設置し、情報の提供と、整備促進の啓発に努めました。	商工業振興課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
第2節 男性の子育て参画の促進					
4201	働き方の見直しについての意識啓発	男性を含めたすべての人が、子育てを含む家庭生活と仕事の両立が図れるよう、働き方の見直しに向けた意識啓発を行います。	引きつづき男女共同参画情報紙「ひこうせん」等で、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に向けた意識啓発を行います。	情報紙「ひこうせん15号」を発行しました。 「日曜夕飯のおかずづくり」をテーマに男女共同参画講座（2回）を開催しました。参加者：延べ36人	自治振興課
4202	固定的性別役割分担意識の見直しに関する啓発	男女がともに家庭における責任を担うことを促すため、講座などで啓発を行います。	引きつづき男女共同参画情報紙「ひこうせん」の発行、講演会、講座の開催、啓発パネルの展示等により意識啓発を行います。	情報紙「ひこうせん15号」を発行しました。 「日曜夕飯のおかずづくり」をテーマに男女共同参画講座（2回）を開催しました。参加者：延べ36人 男女共同参画週間記念事業としてパネル展示（7日間）を市役所エントランスホールで行いました。 埼玉県西部地域まちづくり協議会男女共同参画部会（飯能市、所沢市、狭山市、入間市）で啓発品を作成しました。	自治振興課
4203	家庭教育に関する学習機会の提供	家庭教育の重要性を認識し、子育てへの参加意識の向上や親自身の成長を図ることを目的とした講座を実施します。	父親にも参加しやすいような工夫をしながら、家庭教育についての学習機会の提供を継続します。	P T Aとの共催で週末を利用して開催している家庭教育合同研修会を通し、父親の家庭教育についての学びの機会を設定しました。	社会教育課
4204	男性の男女共同参画に対する意識啓発	男女共同参画社会の実現に向け、男性への意識啓発をより効果的に行います。	引きつづき、男女共同参画情報紙「ひこうせん」の発行、講演会、講座の開催、啓発パネルの展示等により男性の意識啓発を行います。	情報紙「ひこうせん15号」を発行しました。 「日曜夕飯のおかずづくり」をテーマに男女共同参画講座（2回）を開催しました。参加者：延べ36人 男女共同参画週間記念事業としてパネル展示（7日間）を市役所エントランスホールで行いました。 埼玉県西部地域まちづくり協議会男女共同参画部会（飯能市、所沢市、狭山市、入間市）で啓発品を作成しました。	自治振興課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
4205	男性の子育て講座などの参加促進	乳幼児情報センターが行う「ちゃっぼランド」や各種子育て支援に関する講座だけでなく、日ごろから父親も利用しやすい環境づくりを進めます。また、児童館、子育てプレイスなどの子育て支援施設においても父親が参加しやすい事業を実施するよう工夫します。	父親のための事業2回/年（各施設）父親の利用しやすい環境づくりに努めます。	父親参加型の広場を「ファミリーワイワイ広場」として月1回、土曜日に実施したところ、家族（父親）の参加が増えました。また、拡大版“ちゃっぼLAND”を10/11祝日に開催しました。参加者：180世帯約620人（うち父親約150人）	こども課
第3節 保育サービスの充実					
4301	[重点事業] 保育所待機児童対策の推進	待機児の解消を図るため、民間保育所や認定こども園などの施設整備を地域バランス等に配慮しながら推進します。	今後の保育ニーズを踏まえ、民間保育所や認定こども園などの施設整備を行い、受け入れの拡大を図ります。 保育所受入人数：2,200人	定員60人の認可保育所2か所（うち1か所は認定こども園）を整備し、受け入れの拡大を図りました。	保育課
4302	認定こども園の整備	教育と保育とを一体的に提供する、認定こども園の整備を図ります。	認定こども園の整備	定員60人の認定こども園1か所を整備しました。	保育課
4303	保育所における安全対策	保育所における安全を確保するための必要な施設整備、保護者に対する防犯などの情報提供を行います。	引きつづき安全対策における職員の共通理解や体制づくりを図るとともに、充実に努めます。	教育委員会と共同で、市内保育所、幼稚園、小学校の通学路を中心とした帰宅時のパトロールを実施しました。 遊具の安全点検を毎年定期的実施し、室内、園庭（室外）の安全点検は毎月実施しています。 防災訓練を9園で年平均1回実施し、避難訓練は毎月実施しました。 不審者侵入対策として「さすまた」、「発射式捕獲網」を全保育所に配置しました。また、全職員が防犯ベルを携帯しています。	保育課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成 26 年度の目標	平成 22 年度実施状況	担当
4304	公立保育所改修整備事業	老朽化している保育所の施設、設備を改修し安全で快適な保育環境を維持します。	保育所の老朽化している施設、設備について耐震診断等を行い現状を把握するとともに、計画的に順次改修を行います。	新狭山、狭山台南、山王の3保育所で耐震診断を実施しました。 狭山台南保育所及び広瀬保育所で屋上防水等改修工事と柏原保育所で調理室空調増設工事を実施しました。	保育課
4305	保育情報の提供	広報さやま、ホームページ等により保育サービスに関する積極的な情報提供を行います。	引きつづき情報提供を行います。	広報紙、公式ホームページ等において、各種情報の提供に努めました。	保育課
4306	[重点事業] 延長保育の充実	保護者の通勤や就労形態の多様化に対応するため、延長保育を行います。	24 か所	定員 60 人の認可保育所 2 か所（うち 1 か所は認定こども園）の新たな整備に当たり、併せて延長保育を実施するための事務手続きを行いました。	保育課
4307	[重点事業] 休日保育の充実	保護者が仕事その他の理由により休日に不在となり、家庭において児童を保育することが困難な場合、休日保育を行います。	3 か所	既存の 1 か所で実施しました。また、平成 25 年度に建替えにより開所し、公設民営とする祇園保育所において実施できるよう準備を進めました。	保育課
4308	[重点事業]病後児保育の整備	疾病回復期にある児童が、その保護者の労働その他の理由により家庭における保育に支障がある場合、病後児保育を実施します。	2 か所	平成 25 年度に建替えにより開所し、公設民営とする祇園保育所において実施できるよう準備を進めました。	保育課
4309	学童保育室の充実	保護者が就労のために放課後の時間帯が常時留守になっている家庭や病気などで家庭において保育できない小学校 1～3 年生の児童を対象に、保護者に代わり保育を行います。	22 か所	7 月広瀬学童保育室、平成 23 年 1 月南第一・第二学童保育室、平成 23 年 3 月入間野第二学童保育室、以上の 4 学童保育室を整備しました。さらに平成 23 年度の整備に伴い富士見第一・第二学童保育室の設計を行いました。	学務課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
第5章 次代を担う子どもの自立と健全育成の推進					
第1節 次代を担う親の育成					
5101	男女が協力し、家庭を築くための意識啓発	男女が協力してともに家庭責任を担うことを促すための啓発を行います。	男性が家事などへ積極的に参画できるように、引きつづき講演会や講座等を開催します。	情報紙「ひこうせん15号」を発行しました。 「日曜夕飯のおかずづくり」をテーマに男女共同参画講座（2回）を開催しました。参加者：延べ36人 男女共同参画週間記念事業としてパネル展示（7日間）を市役所エントランスホールで行いました。 埼玉県西部地域まちづくり協議会男女共同参画部会（飯能市、所沢市、狭山市、入間市）で啓発品を作成しました。	自治振興課
		男女が協力して家庭を築くことおよび子どもを生み育てることの意義に関する教育・広報・啓発を行います。	男女が協力した家庭づくりについて、学びの機会、振り返りの機会を、継続して提供します。	家庭教育事業や人権教育研修会等を通して、男女が協力した家庭づくりについての意識啓発に努めました。	社会教育課
		家庭科授業において、家庭のあり方について学ぶなど、男女が協力して家庭を築くことの大切さを学習します。	指導法の工夫、教材の開発をしながら、事業を継続します。	各校において家庭科の授業を通して家庭の在り方等について学習をしました。	教育指導課
5102	男女共同参画情報コーナーの設置	男女共同参画プランや各種リーフレット等の配布、パネル展示等を通して、男女共同参画に関する現状や取り組みなどの情報収集と提供を行います。	（仮称）男女共同参画センターに情報コーナーを設置します。	男女共同参画週間記念事業としてパネル展示（7日間）を市役所エントランスホールで行い、男女共同参画に関する取り組みの紹介やリーフレットの配布等を行いました。	自治振興課
5103	男女平等教育推進講演会	男女共同参画社会の実現を目指す教育の推進を図るため、人権教育の視点から研修を行います。	県主催の男女平等教育推進講演会に各小・中学校、幼稚園の教職員が参加し、意識啓発を図ります。	可能な限り研修会参加を果たしました。	教育指導課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
5104	[重点事業] 乳幼児とのふれあ い事業の充実	中学生、高校生などに対し、 子どもを生き育てることの 意義の理解を促進するた め、乳幼児とふれあう機会 を提供します。	引きつづき高校生ボラ ンティアとして乳幼児 とのふれあいの場を作 ると共に、中高生向事 業の一つとして児童館 事業の中でも取り込ん でいきます。	職業体験やこどもまつり等 において、乳幼児とふれあ う機会の提供ができた。	こども課 保育課
			引きつづき、教育分野、 福祉分野が連携し、乳 幼児とのふれあいの機 会の拡充を図ります。	中学生の体験学習や社会福 祉協議会を通してボラン ティアを受け入れ、乳幼児と ふれあう機会の提供ができ ました。	
5105	ジュニアリーダ ーの育成	子ども会における年少指導 者として、必要な知識や技 術を習得し、青少年の健全 な育成を図り、地域の活性 化など、社会の発展に貢献 できる人材を育成します。	他の青少年育成団体等 とも連携して育成者の 確保に努めながら、30 人以上の登録者を維持 します。	年少指導者の育成のためジ ュニアリーダー初級講習会 を開催し、キャンプ等のカ リキュラムを実施して育成 に努めました。 ジュニア リーダー：20人 初級講習 会修了者数：5人	社会教育課
5106	市長と中学生と の対談	市長と市内中学校の生徒が 対談を行い、青少年が日頃 考えていることや本音に触 れ、青少年の健全育成の推 進を図るための一助としま す。	毎年話し合う内容を変 えていくなど、事業の 充実を図ります。	「どんな大人になりたい か」「狭山市の未来像」を テーマに、中学生が普段考 えていることを基に、意見 交換を行いました。	こども課
5107	ニート対策など の推進	若者のフリーターやニート 対策として、職業能力向上 と職場定着促進などの対策 を行います。	狭山市産業労働センタ ー内に、カウンセラー を配置し、就職支援セ ミナー・就職相談等の 事業充実を図ります。	週2回若年者を対象にした 就職相談を実施しました。 就職支援のための資格取 得、面接方法、自己分析の ためのセミナー等を開催し ました。 参加者：延べ567人	商工業振興課
第2節 子どもの健全育成の充実					
5201	[重点事業] 地域子ども教室 事業の推進	地域において児童が自主的 に参加し、自由に遊ぶ、安 全に過ごすことのできる放 課後や週末などの居場所を づくりします。	事業を継続するととも に、未設置小学校区へ の拡大を図り、全小学 校区に設置します。	10教室開設するとともに、 広域事業を実施しました。	社会教育課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成 26 年度の目標	平成 22 年度実施状況	担当
5202	学校開放事業の充実	地域の身近な活動の場として、学校施設の開放を行います。	授業や学校行事に支障のない範囲で、地域やスポーツ団体へ体育館・校庭・教室の夜間・休日等引きつづき一般開放します。	小・中学校において校舎、体育館、校庭を利用する団体が 250 を超え、延べ 8,000 回の利用がありました。	教育総務課
		学校の教育活動に支障のない範囲で、スポーツ・レクリエーション団体に地域の身近な活動の場として。学校体育館の開放を行います。	引きつづき事業を実施します。	平成 17 年 10 月より中学校全校が利用可能になり有効利用されています。	スポーツ振興課
5203	子どもの遊び場の整備・改修	公園などの子どもの遊び場について、衛生面、安全面、防犯面へ配慮し、整備を進めます。	引きつづき事業を実施します。	広瀬地区において、公園 1 か所（広瀬台虹の橋公園 8,785 m ² ）を整備しました。入間川地区において、開発事業に伴い整備された公園 1 か所（子の神公園 137 m ² ）の帰属を受け、供用開始しました。入曽地区において既存借用地公園の公有地化を図りました。（北の前児童公園 822.41 m ² ）	みどり公園課
			子どもが安全で安心して遊べるよう、公園施設の改修を進めます。	自治会への管理委託が 1 公園増えたとともに、遊具等の保守点検及び改修、修繕等適正な維持管理を実施しました。	公園管理事務所
5204	地域活動への参加促進	地域の人々と交流を持ち、児童生徒や教職員が主体的に地域社会の一員としての自覚を持ち、さまざまな地域活動に参加するよう働きかけていきます。	さらに充実した実践を進めます。	学校アダプトプログラムで、地域との連携を図りながら、全校で実施しました。また、小学校では地域の祭り、中学校ではバザー等で交流を実施しました。	教育指導課
5205	冒険遊び場（プレイパーク）への支援	プレイリーダーや地域の大人が見守る中、自然を生かして、子どもの自由な遊びの場を提供している市民活動を支援します。	市民団体の活動を、可能な範囲で側面支援します。	「本気であそぶ子☆応援団」と共催で地域子ども教室の事業として、自然を生かした屋外での体験活動を実施しました。	社会教育課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
5206	[重点事業] こどもまつりの開催	地域や人々の連携・交流の場として、地域の子育て支援者や市内各種児童施設が協働し、子どもやその保護者を対象におまつりを開催します。	こどもまつりを開催します。	市内各児童館で、こどもまつりを開催しました。また、智光山公園において、ちゃっぽLANDを開催しました。	こども課
5207	こどもエコクラブへの参加促進	小中学生の環境への関心と理解を深め、環境保全活動への自主的参加を促すため、環境省こどもエコクラブ事業の市事務局として、参加を呼びかけるとともに、情報提供や登録受付を行います。	引きつづき実施します。	1つのクラブの新規登録及び1つのクラブの継続登録を行い、活動推進を図るための情報提供を行いました。	環境課
5208	中高生の活動拠点の整備	中学生、高校生などの自主的活動を促進するための拠点施設の整備を行います。	青少年が気軽に利用できる施設の充実を図ります。	中高生が既存施設の空き時間を利用することについて検討を始めました。	こども課
5209	青少年健全育成団体の活動促進	青少年健全育成団体の自主的活動の促進を図ります。	青少年相談員協議会を始め引きつづき青少年健全育成団体の活動を促進します。	青少年を育てる狭山市民会議、狭山市青少年相談員協議会、狭山市青少年育成推進員会に補助金を支給しました。	こども課
			引きつづき市内の青少年団体相互の連携を促しながら活動を支援します。	狭山市子ども会育成会連絡協議会と郷土かるた大会やスキースクールなどを共催し、活動を支援しました。	社会教育課
5210	児童館事業の充実	児童が気軽に利用できる環境づくりに努めるとともに、子どもにとって魅力ある事業を企画・実施し一層の活性化を図ります。事業の企画にあたっては、子どもの参画を推進します。	引きつづき指定管理者による運営により、乳幼児とその保護者・小学生・中高生の居場所の確保、児童が達成感を得られる場所としての充実および地域との連携や児童活動の拠点としての展開を図ります。	指定管理者により、こども向け事業、父親参加型事業及び子育て応援事業を実施しました。また、各館合同事業や地域との関わりをもった事業も実施しました。	こども課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
第3節 生きる力を育む教育の推進					
5301	幼児教育の充実	幼児教育の充実のため、幼児教育についての情報提供を進め、幼児期の成長の様子や大人の関わり方について保護者や地域住民などの理解を深めるための方策を検討します。	引きつづき指導内容の充実を図るとともに、幼・保、幼・小の連携を推し進めます。	新狭山幼稚園 →研究発表 水富幼稚園 →支援担当訪問	教育指導課
5302	幼児教育庁内検討委員会	狭山市の幼児教育のあり方や就学前教育の考え方について、研究・検討する組織を立上げ、意見を集約します。	検討会を設置し、幼児教育のあり方、就学前教育の考え方を策定します。	庁内検討委員会を5回開催し、市立幼稚園のあり方、及び統廃合について協議しました。また、幼児教育市民検討委員会を新たに設置するとともに、2回会議を開催し、市立幼稚園のあり方について協議しました。	学務課
5303	幼稚園保護者の経済的負担の軽減	幼稚園に就園する子どもの保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園就園奨励費補助金、私立幼稚園等就園補助金を交付します。	引きつづき事業を継続し、家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図るため補助金を交付し、幼児教育の振興を図ります。	公立幼稚園の園児34人、私立幼稚園の園児1,355人に対し、幼稚園就園奨励費補助金を支給しました。また就園奨励費補助金を受けていない私立幼稚園等の園児417人に対し私立幼稚園等就園補助金を支給しました。	学務課
5304	保育所と幼稚園の相互交流	保育所と幼稚園の相互交流による就学前教育の研究、向上を図ります。	保育所と幼稚園が計画的に、日常的に相互交流を進めていくなかで、互いの理解を深めて、就学前児童の育ちを支えます。	保育所の4・5歳児と幼稚園の4・5歳児がリレー・体操・ゲーム・食事会などで楽しみました。幼稚園の5歳児が保育所に来園し、乳児の世話をしました。保育所と幼稚園の交流については、引きつづき研究を進めています。	保育課
			引きつづき事業を実施し、相互交流、相互理解を進めます。	合同研修会を実施しました。	教育指導課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
5305	保育所、幼稚園と小学校との連携	子ども一人ひとりに継続した教育・指導が図れるよう、保育所、幼稚園と小学校との連携体制を整備します。	子ども一人ひとりに継続した教育・指導を図り、スムーズな就学になるよう、保育所、幼稚園、小学校の連携を推進します。	就学する子どもたちについて、小学校との話し合いや、連絡等、連携を引きつづき取りました。就学する子どもたちが小学校低学年の「遊びコーナー」に参加したり、1年生の教室で1年生と一緒にプリントによる学習を行うなど交流しました。	保育課
			引きつづき保育所と小学校の交流を進めます。	合同研修会を実施します。	教育指導課
5306	確かな学力の向上	子ども一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実や外部人材の協力により、学力の向上を図ります。	各学校の児童・生徒の実態を踏まえ、授業改善、スキル学習等、学校の特色を生かした取組を推進します。	学力向上ストラテジー2 years プランを各学校で策定し、達成目標に向けて具体的に取組を展開しました。	教育指導課
5307	豊かな心の育成	人間としての生き方を身につけ実践できる、心豊かな児童・生徒を育てます。	道徳教育の充実を図ります。	教育センターに「心の教育研究会」を設け、道徳教育推進を図りました。全校で道徳の公開授業を実施しました。	教育指導課
5308	健やかな体の育成	スポーツに親しむ習慣、意欲および能力を育成するため、指導方法の工夫および改善などを進めます。体力向上推進委員会との連携を通して、学校におけるスポーツ環境を整え、健康教育の充実を図ります。	部活動外部指導者の配置の拡大により、さらなる充実を図ります。	中学校全校に30人の部活動指導員を配置しました。	教育指導課
5309	開かれた学校づくり	全小中学校に学校応援団が組織され、積極的にボランティアを導入するなど、地域との関わりを深め、地域に開かれた学校づくりを進めます。	引きつづき取り組みを進めます。	全校に学校応援団を組織して活動しています。	教育指導課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
5310	少人数指導	児童生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を行います。	引きつづき小中学校全校で少人数指導の実践を行います。	少人数加配教員を活用し、全校でティームティーチングや少人数指導を実施しました。	教育指導課
5311	情報教育の充実	情報化の進展に対応した学習環境を整備するため、各小中学校の各教室・特別教室のパソコンを整備するとともに、校内LANを整備します。	引きつづき小中学校全校のパソコンを整備します。	教職員のパソコンを配備しました。 小・中学校25校に校内LANを整備しました。	教育総務課
			各学校がLANを使用して授業に活用できるよう、研修会を開催します。	国語科・英語科において、ICTを活用した授業研修会を実施しました。各教室に設置された大型テレビや教員一人に1台ずつ配備されたパソコンを、授業で効果的に活用しました。	教育センター
5312	小学校英語活動	英語活動・英語指導マニュアルを積極的に活用し、計画的、効果的な指導体制の確立に努めます。	ALTや英語活動支援員を活用し、さらに充実した英語活動のあり方を目指します。	27人の英語活動支援員を配置しました。 小学校教員の指導力向上のため、英語活動集中講座を開設しました。	教育指導課
5313	進路指導の充実	自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する能力を育成します。また、卒業後の職業生活や社会生活など生涯にわたるキャリアを形成していく力を育成します。	引きつづき、キャリア教育推進研修会を開催します。	ふれあい講演会、教員対象のキャリア教育研修会の実施とキャリア教育授業研究会の実施（入間中）をしました。	教育指導課
5314	総合的な学習の時間	地域や学校、児童生徒の実態などを生かした指導計画の改善、充実を図ります。	引きつづき総合的な学習の時間の充実に努めます。	各校の工夫改善により、学校を中心とした学習活動が展開され地域との連携を深めることができました。	教育指導課
5315	狭山茶とふれあう教育の推進	小・中学校において茶摘み体験、茶席体験を通じて、地域の主要農作物である狭山茶とふれあう機会を創出します。	引きつづき体験学習の中で、狭山茶とのふれあいとともに、地域とのふれあい、食の大切さ、郷土への愛着心の醸成に努めます。	茶摘み体験等を実施しました。	教育指導課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
5316	生徒指導の充実	暴力を否定し、信頼関係に立つ生徒指導を実践し、いじめ問題と不登校の根絶を目指します。	引きつづき生徒指導の充実・強化に努めます。	全校に生徒指導担当による学校訪問を各学期1回実施といじめ、不登校等の実態調査を実施しました。	教育指導課
5317	学校施設の整備・管理	安全・安心・快適な教育環境を確保するため、学校施設の整備を行います。	26年度までに以下の整備を行います。 ・耐震補強工事:6校 ・耐震補強工事(体育館):12校 ・空調改修工事:5校	校舎耐震補強工事2校 →西中・山王中 空調改修工事1校 →水富小	教育総務課
5318	健康づくり事業	健康日本21狭山市計画に基づき、市民の健康づくりを支援するための各種の健康づくり事業を実施します。	引きつづき、健康づくり団体により、小中学校等を対象とする親子料理教室や、幼稚園等でのすこやか体操の指導などを中心に子どもへの意識啓発に努めます。	健康日本21狭山市計画の6分野を積極的に取り組んでいます。 「すこやかさやま連絡協議会」によるウォーキングや講演会を実施しました。 また、健康づくり推進協会による親子料理教室(小中学校を対象)を実施しました。「すこやか推進員」による体力測定会等の実施や「すこやか体操普及指導員」による体操の普及活動なども実施しました。	健康推進課
第4節 家庭や地域の教育力向上の促進					
5401	家庭教育学級の充実	子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会や情報の提供を行います。	全幼稚園、小学校、中学校で実施します。	家庭の教育力向上に向け家庭教育学級を開設しました。 幼稚園:9園 小学校:16校 中学校:10校	社会教育課
5402	すこやか子育て講座	新たに小学生となる児童の保護者を対象に、就学時健診や入学説明会の機会を捉え、家庭教育、子育てに関する講座を行います。	引きつづき家庭教育に関する講座を開催します。	全ての市立小学校において講座を開催しました。	社会教育課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
5403	親支援プログラムの実施	乳幼児を持つ保護者を対象に、親として子育てに必要な知識と心構えを学び、子どもの健全な育成を促進するため、親支援プログラム事業を実施します。	年1回開講します。	子育て応援プログラムを2回開講しました。 6/10～7/15 全6回 場所：乳幼児情報センター 参加者：15組 (延べ83人) 10/20～12/1 全6回 場所：子育てプレイス新狭山 参加者：13組 (延べ71人) スタッフ1人がファシリテーター認定を取得しました。	子ども課
5404	地域人材の活用	子どもたちの健全育成のため、地域の人材を積極的に活用します。	引きつづき事業を実施します。	生涯学習ボランティアの研修を兼ねたおとなの学び応援塾の成果を活かすため、生涯学習をすすめる市民の会に委託し、さやまの市民講座（4講座のうち1講座が親子参加）を実施しました。学校支援ボランティアセンターを狭山シニア・コミュニティ・カレッジ同窓会に業務委託しました。また、学校支援ボランティア講習会等を実施しました。生涯学習ボランティアを家庭教育学級で利用できるように各学級に名簿を配付しました。	社会教育課
				各公民館において、子どもの発達段階に応じた各種講座等の事業を実施する際、サークルや地域団体の協力を得るなど、地域人材の活用に努めました。また、子育てサロンや子育て広場の運営を地域団体や地域の人材を活用して実施しました。	中央公民館

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
5405	地域における教育活動の推進	地域に身近な施設である公民館において、各種講座や研修を通じて、子どもの健全育成および各種の意識啓発を図るとともに、公民館だよりやインターネットを通じて情報提供を図ります。	引きつづき事業を実施します。	交通安全・防犯、家庭教育、子育て講座、健康づくり講座、男女共同参画、障害者学級などの事業を実施（関係団体との共催事業あり）するとともに、公式ホームページや公民館だよりを利用して、情報提供を図りました。	中央公民館
		図書館において各種講座や研修を通じて子どもの健全育成および読書の促進を図るとともに、図書館だよりやインターネットを通じて情報提供を図ります。	引きつづき事業を継続し、個々の意識の向上からさらに、担い手となる人と人、団体同士をつなぎ、子どもの読書活動推進の気運をさらに広げていくことを目指します。	市民と連携し、子どもと本に関する学習会活動を行いました。肥田美代子氏講演会、読み聞かせ講座2回、学校図書館を知る学習会1回、絵本を楽しむ会12回読書の促進のためのリスト作成、特集展示、ブックトーク等を行いました。特に国民読書年の活動としては、学校教育部との連携で「子どものときに読みたい本（さやまの100冊）」を選定し、教育委員会ですすめる「家庭読書の日」のPRを行いました。	中央図書館
		博物館において子ども向けの企画展を実施し、子どもの健全育成を図るとともに、インターネットを通じて情報提供を図ります。	引きつづき事業を継続し、社会情勢などを勘案しながら、時代の要請に応えられるような企画展事業を開催します。	子ども向けの夏の企画展「音のでるおもちゃ展」及び関連事業として、親子を対象とした工作教室を6事業実施しました。さらに、子どもが年中行事などの日本文化を学習する体験学習も随時開催しました。 夏期企画展開催日数 ：44日間 入館者数：延べ7,005人	博物館
5406	スポーツ指導者の養成	スポーツ・レクリエーション活動の一層の普及を図るため、スポーツ指導者および指導者養成の講座などを充実させます。	引きつづき事業を継続し、指導者講習会等の内容の充実を図ります。	各種スポーツ団体で指導者の養成・育成や指導者講習会を実施しています。	スポーツ振興課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
5407	世代間交流の促進	高齢者と小学生が学校の草取りを一緒に行う「ふれあい草取り」を実施することにより、世代間の交流を促進します。	多くの学校で実施できるように取り組みます。	市内の小学校9校で、ふれあい草取りを実施し、延べ273人の高齢者が参加しました。	高齢者支援課
		世代間交流を通じて、子どもの興味、関心を高めていきます。	様々な世代の人たちと交流する機会を引きつづき提供します。	夏まつり、音楽祭・コンサート、文化祭、ハイキングなどのイベントや小学校との連携事業などにおいて、積極的に世代間交流に取組みました。	中央公民館
第5節 有害環境対策の推進					
5501	屋外広告物簡易除却事業	安全で快適なまちづくりのため、電柱などに設置される有害情報を含む違反広告物を撤去します。	引きつづき事業を実施します。	住民で構成される違反広告物除去推進員、及び庁内の職員等による除去活動により年間5,944枚を除去しました。	管理課
5502	有害図書の区分陳列化などの促進	埼玉県青少年健全育成条例に基づき、青少年に有害な図書、ビデオの区分陳列化などを進めます。	各地域で行われている非行防止パトロールを兼ねた見回りを実施します。	埼玉県青少年健全育成条例に基づき、青少年に有害な図書、ビデオ等の区分陳列が行われていることを確認しました。	子ども課
5503	健全育成のための連携体制の充実	子どもの健全育成のため、学校をはじめ、青少年を育てる狭山市民会議、警察や事業者、保護者、地域住民など、関係諸機関と連携し、一体となって対策にあたる体制を整備・充実します。	引きつづき子どもの健全育成のため、地域が一体となった取組を推進します。	青少年健全育成「地域の集い」を実施しました。	教育指導課
第6章 親子が安心して暮らせるまちづくりの推進					
第1節 子育て環境の確保と整備					
6101	市営住宅の母子世帯等の優先入居制度	市営住宅の入居者登録において、母子世帯、多子世帯などは、優先入居世帯として順位の決定を行います。	引きつづき事業を実施します。	市営住宅の入居募集（登録制）において、母子世帯は優先入居としました。新規入居27世帯中、母子世帯は11世帯でした。	住宅営繕課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
6102	住宅に関する情報提供	市営住宅・公的賃貸住宅の募集案内等を配布するなど、子育て家庭などに対して公営住宅などの情報提供を行います。	引きつづき事業を実施します。	県営住宅やUR都市機構住宅、特定優良賃貸住宅などの募集案内の支援、情報提供を行いました。	住宅営繕課
6103	公共施設のバリアフリー化、子育て設備の設置促進	バリアフリー法などに基づき、公園や公共施設のバリアフリー化及び、公共施設において、ベビーベッドやベビーチェア、授乳室の設置など子育て家庭などに配慮した設備の整備を促進するため、現状を調査し、子育てバリアフリー化に向けた指針の策定について検討します。	子育てバリアフリー化に向けた指針の策定について検討を行います。	公共施設の利用者が誰でも気持ち良く利用し、交流できる施設運営について検討しました。	保健課
6104	赤ちゃんの駅の設置	乳幼児を持つ親子が安心して外出できる環境整備と子育てに優しいまちづくりを推進するため、外出時に授乳やオムツ替えができる「赤ちゃんの駅」を、公共施設を中心に設置します。	赤ちゃんの駅 50か所	市内公共施設51か所において設置しました。また県の補助金を利用して設備の充実を図りました。	保健課
6105	建築物のバリアフリー化	バリアフリー法、埼玉県バリアフリー条例（平成21年4月1日施行）及び埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、建築物の審査を行います。	引きつづき事業を実施します。	バリアフリー法、埼玉県バリアフリー条例及び埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、建築物の審査を行いました。 審査受付件数：15物件	建築審査課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
第2節 交通安全対策の整備					
6201	交通安全教育の充実	各種交通安全教室を開催し、交通安全ルールの理解を深めることにより、重大な交通事故からの回避を図るため、子どもおよび子育てを行う親などを対象に、交通安全教育を行うとともに、指導者である交通指導員や交通安全ボランティアのスキルアップを図ります。	交通安全教育の指導方法技術の向上により、交通安全教室の内容の充実を図ると共に、特に親子を対象とした交通安全教育のカリキュラムを充実させます。	子供・児童・保護者等を対象にビデオ視聴や徒歩・自転車・車での安全な通行の仕方等の講和を通じ、交通安全の意識・高揚を図りました。 親子対象交通安全教室 実施：43回	交通防犯課
		学校や幼稚園において、園児、児童、生徒、保護者に対する交通安全教育を行います。	引きつづき事業を実施します。	狭山警察署との連携による交通安全教室を実施しました。	教育指導課
6202	交通安全に関する普及啓発	各期の交通安全運動を捉えて、ドライバーや市民に対する交通安全思想の普及を図るとともに、各種教室等を実施し交通安全の啓発に努めます。	交通安全思想の普及に努めるため、チャイルドシートの設置指導を始め、啓発活動の更なる実施と工夫を図ります	各期の交通安全運動における啓発活動の実施や小中学生を対象とした交通安全に関するポスター等の募集により交通安全の啓発を図りました。チャイルドシートの設置点検を1か所で実施し、マイカー点検教室とペーパードライバー教室も1回実施しました。	交通防犯課
6203	道路交通環境の整備	交通死傷事故の割合が高い地域から重点的に交通安全施設の整備を進めるとともに、国・県道の歩道整備、交通規制について、関係機関に要望します。	引きつづき事故発生件数の減少を目指し、道路交通環境の整備・推進に取り組めます。	道路反射鏡新設：13基 道路照明灯新設：15基 道路鋸新設：4個 区画線：6181.79m 文字記号：2065.66m (カラー含む)	交通防犯課
		バリアフリー法に基づき、幅の広い歩道の整備など、道路のバリアフリー化を進めます。	引きつづき事業を実施します。	歩道の整備については2路線、計482.5m(車両乗り入れ部を含む歩道面積は計897.8㎡)の整備を実施しました。また、歩道の拡幅にあたり街灯の移設やポストコーンの設置を行いました。	道路雨水課

狭山市次世代育成支援計画実施状況（平成22年度）

番号	事業名	事業内容	平成26年度の目標	平成22年度実施状況	担当
第3節 防犯対策の推進					
6301	防犯に関する啓発	携帯のモバイル端末・ホームページ等を通じ、防犯対策に関する広報を適時行うとともに、不審者対応研修会等を開催し、啓発に努めます。	引きつづき広報活動や防犯研修会の開催を継続します。	地域ネットニュース等を公式ホームページに掲載し防犯に関する情報を配信し、注意喚起を行いました。不審者対応講習会を教員・学童保育職員・保育所職員を対象に実施しました。 参加者：62施設・140人	交通防犯課
6302	地域防犯パトロール	警察や狭山地方防犯協会、地域防犯ネットワーク（APOC）、学校関係者などと連携し、地域における防犯パトロールを行います。	引きつづきパトロールを実施します。	職員による防犯パトロールを実施しました。また、各地区APOCの防犯パトロールに協力し、パトロール用品を配布しました。委託している警備員による防犯パトロールを110回実施しました。	交通防犯課
6303	こども110番の家の推進	こども110番の家の設置を進め、子どもが犯罪などに遭ったときの緊急避難場所を確保します。	引きつづき事業を実施します。	全校で緊急避難場所として設置しました。	教育指導課
6304	防犯灯の整備	道路などに防犯灯を設置します。	引きつづき自治会の要望に応え設置します。	自治会要望で防犯灯を77基設置しました。	交通防犯課
6305	防犯教室の実施	学校、幼稚園における防犯対策を、警察等の関係諸機関と連携しながら実施します。	引きつづき事業を実施するとともに、訓練内容の充実を図ります。	狭山警察署との連携による防犯教室、非行防止教室を全校で実施しました。	教育指導課